

新しい時代「令和」の始まりです！

「令和元年」となり、東京五輪・IR・大阪万博などの事業が始まり今までと違うステージが始まると予感します。しかし、敢えて今号で「縁」という事に焦点を当てました。人との出会いから始まる「縁」は永遠の課題です。今一度原点に戻りましょう。 栩野

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

3つのご縁を大切に！

右掲は、ご縁を代表的な3つに分けた物です。107号(30年11月号)で「縁・運・つき」という笑福亭鶴瓶師匠の言葉をご紹介しますが、最初の「縁」を分解すると大別して3種類があるのです。「家族縁」・「地域縁」・「仕事縁」の3つです。どの縁も大切ですが、現役世代の時は「仕事縁」が大きく、しかしながら、「定年」という節目で消えていくご縁です。やはり、生計を立てるには「仕事」を通じた関係性が基本になり、1日の内でゴールデン・タイムを費やしている縁なので、客観的にも濃い関係性が生まれ易いのです。例えば、先輩後輩という関係性によって日常活動を行うのですが、一種の運命共同体的な要素がある物です。何故なら、やはり収益から個人の所得を分配するからです。赤字が続くと組織自体の存続が危ぶまれるのでラグビーの「One for all, all for one」という精神で結ばれる必要があるのです。当然、取引先も負債という点で運命共同体的な要素もあるのです。

3つのご縁
家族縁: 夫婦、親兄弟、子孫、
親戚縁者etc
地域縁: 地域・会合etc
仕事縁: 先輩、同僚、取引先
etc

しかしながら、サラリーマンには「定年」という制度があり、「仕事縁」は必ず切れてしまい、いわゆる「年賀状」だけの関係性になってしまう事が多いのです。最近では、SNSが普及しており、筆者もフェイスブックを活用しており、多くの友達が「いいね」を送ってくれるので、あながち「年賀状だけ」と言う関係ではないのです。それでも、直接、お会いするにはOB会のような会合がないと難しいのは事実です。

笑福亭鶴瓶師匠の「縁・運・つき」は「仕事縁」を土俵にしているのです。なぜなら、その他の縁、家族縁は他人は無縁ですし、地域縁もエリア内にいないと構築できないご縁で、縁を結ぶには前提条件があるのです。つまり、仕事縁だけは、人との出会いによって生まれ、「商品・技術・サービス」を提供する代わりに対価を支

忘れてはならない地域縁への適応！

扱うビジネス上の関係なのです。このご縁には、先輩、同僚、取引先などの存在があります。先輩には、上司や経営者も含まれるので、重要な関係性です。しかしながら、禅語に「愛語回天」や「啐啄」という言葉がありますが、このような人間的な関係性が薄れており、先輩から個人的な要素で声をかけてもらった事がありません。つまり、仕事縁が希薄になって来ているのです。その結果、「One for all, all for one」は絵空事になってしまうのです。この傾向は、同僚という横関係でも強まっており、例えば、グループを形成して何かをすると言う事が薄れているのです。古い時代では、ゴルフやボーリング、麻雀や囲碁そして飲食とあり、社員旅行なども行われていたのです。

自営業者でない限り誰かに雇用されているので、多くの方は、昼間は地元におらないのです。その結果、地域との関係性が薄いので、定年を迎えた時に「仕事縁」の大きさに驚かされるのです。つまり、日常的に挨拶する人が少なくなるのです。「居場所」という言葉がありますが、「家庭」だけという方が多くなり、悲惨な場合、定年と同時に何もする事がなくなって「ぬれ落ち葉」症候群で奥さんに付きまとう結果、疎まれて挙句の果ては離婚という事になる方が出て来るのです。実際に、私が周囲を観察してみると奥さんに疎まれてる方の比重が高いのです。

定年後は、自分の経験を活かす再就職を出来る方は少なく、多くは、誰でも出来る体力を使う仕事が多くなるので、実質的に再就職が叶わないケースが多いのです。年金で生活できる方は、再就職せずに自宅に籠り趣味の世界を想像するのですが、趣味も一人では詰まらないのです。ついには、趣味を諦めて、毎日、動物や植物、テレビという生活になり勝ちなのです。これは、健康面で、運動と刺激という点が欠け安く、知らない内に「認知」となり、他人に迷惑がかかるようになるので、地域縁に適応する能力が必須と思います。

ワンポイント・アドバイス
今回は「3つのご縁」に焦点を当ててサラリーマンに訪れる定年で消える「仕事縁」をリカバリーするには、奥さんに迷惑をかけない為に「地域縁」への適応を心がける事が大切と考え書いています。MMQCだから「儲かる」ばかりではなく、人生を通して「幸せ」に生きるという視点で書いてみました。「家族縁・地域縁・仕事縁」の3つのバランスが重要なのです。気を付けたいです。

